

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成27年4月2日(2015.4.2)

【公開番号】特開2012-193346(P2012-193346A)

【公開日】平成24年10月11日(2012.10.11)

【年通号数】公開・登録公報2012-041

【出願番号】特願2012-37237(P2012-37237)

【国際特許分類】

C 0 9 D 11/00 (2014.01)

B 4 1 J 2/01 (2006.01)

【F I】

C 0 9 D 11/00

B 4 1 J 3/04 1 0 1 Y

【手続補正書】

【提出日】平成27年2月13日(2015.2.13)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

モノマー、光開始剤、任意の硬化性オリゴマー、および1つ以上の任意の添加剤を含む硬化性インクキャリアと、

強磁性金属コア、および当該コア上に配置され、1つ以上の界面活性剤を含有し、約0.2 nm～約100 nmの厚みを有する保護コーティングを含む、コーティングされた強磁性ナノ粒子と、

任意の着色剤と、

を含むインク。

【請求項2】

前記強磁性金属コアが、Fe、Mn、Co、Ni、FePt、CoPt、MnAl、MnBiおよびこれらの混合物からなる群から選択される、請求項1に記載のインク。

【請求項3】

前記強磁性ナノ粒子が、約20 emu/グラム～約100 emu/グラムの残留力を有する、請求項1又は2に記載のインク。

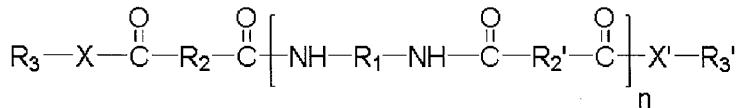
【請求項4】

前記強磁性金属コアが、約3:2～約10:1のアスペクト比を有するニードル形状を有する、請求項1～3のいずれか1項に記載のインク。

【請求項5】

(a)次の一般構造を有するポリアミド：

【化1】



式中、nは1から5の整数であり；R₁は、(i)アルキレン基、(ii)アリーレン基、(iii)アリールアルキレン基、(iv)アルキルアリーレン基であり；R₂およ

び R_2' はそれぞれ互いに独立に、(i) アルキレン基、(i i) アリーレン基、(i i i) アリールアルキレン基、(i v) アルキルアリーレン基であり； R_3 および R_3' は、それぞれ互いに独立に、(A) 光開始剤基、または(B) (i) アルキル基、(i i) アリール基、(i i i) アリールアルキル基、(i v) アルキルアリール基である基であり； X および X' は、それぞれ互いに独立に、酸素原子または式 $N R_4$ の基であり、式中 R_4 は、(i) 水素原子、(i i) アルキル基、(i i i) アリール基、(i v) アリールアルキル基、または(v) アルキルアリール基である；

(b) 硬化性アミドゲル化剤；

(c) エステル末端処理されたジアミド化合物；および

(d) トランス - 1, 2 - シクロヘキサン - ビス(尿素 - ウレタン)化合物からなる群から選択されるゲル化剤をさらに含む、請求項 1 に記載のインク。